



JAMBOREE INFORMATION

#01

第18回日本スカウトジャンボリー 大会情報 ジャンボリーインフォメーション 第1号 2021年10月28日発行

ジャンボリー インフォメーション とは？

ジャンボリーインフォメーションとは、各県連盟や参加予定者を対象に、大会参加に向けた準備に必要な情報を提供することを目的として発行します。大会までに数回の発行を予定し、毎号、最新の情報を提供していきますので、大会ウェブサイトで公開される情報に加えて、準備に活用してください。

目次

❖ Jamboree Never Stops … 1	❖ サテライト会場の実施概要 …… 4	❖ プログラムの概要 …………… 7
❖ 開催の趣旨 …………… 2	❖ 東京ジャンボリー大集会 …… 5	❖ 今後の情報 …………… 8
❖ 新たな様式での開催 …… 2	❖ ジャンボリーサマー 2022 … 5	
❖ 開催概要 …………… 3	❖ 代表スカウトキャンプ …… 6	

Jamboree Never Stops

全国のスカウト諸君、ボーイスカウト隊指導者の皆さん、いよいよ来年2022年(令和4年)の8月に待ちに待った、第18回日本スカウトジャンボリー(18NSJ)が開催されます。

約2年間、世界中が新型コロナウイルスの蔓延で、皆さんご周知のとおり、東京オリンピック・パラリンピックの開催も1年延期して開催されました。

しかし、昭和31年長野県軽井沢で開催された第1回日本ジャンボリーから、3年前の石川県珠洲市で開催した第17回日本スカウトジャンボリーまで、延々と続いてきた日本スカウトジャンボリーの「火」をたやすことなく、何としても受け継いでいかなければなりません。

今までの1万人規模の野営大会は、日程、場所の関係から、実施が難しい状態です。

18NSJは、各ブロック、県連盟、地区、または隊の規模での全国のあらゆる場所での、分散開催という今までとは違う形で開催します。分散開催という方式になりますが、それぞれのキャンプ地をできる限りつなぎ一体感を醸成するため、ジャンボリーサマー2022と位置づけ、一人でも多くのスカウト・指導者が全国それぞれの地で同時にキャンプに参加しようではありませんか。

18NSJのテーマは、「100⁺f ~自分のfを探せ~」日本連盟創立100周年記念大会として、100年間の歴史を振り返り、これからの100年を築き上げる契機となるよう、自分の「f」を探して未来に向かっていくテーマに設定しました。

今後発行されるジャンボリーインフォメーションに、必要な情報を順次掲載していきます。最後に18NSJの成功は、君たちスカウトの手の中にあります。



日本連盟コミッショナー 福嶋 正己

日本中で一緒にスカウトキャンプを

全国の仲間が楽しみにしている4年に1度のスカウトの祭典であるジャンボリーが、今回初めての分散開催となります。コロナ禍の中でリスクを最小限に抑えながら、いかに全国の仲間の一体感をつくっていかれるか、新しいチャレンジです。全国のさまざまなフィールドで、それぞれ同じ夏の空の下で日本中の仲間たちとスカウトキャンプの同じ時間を過ごし、スカウティングの楽しさを分かち合いましょう。

今回のジャンボリーはそれぞれにとって近い場所に参加していただけますので、一人でも多くの仲間がこの全国同時キャンプに参加して、全国の「隊活動を活性化する」機会としてもらえればと思います。

活動プログラムやさまざまな催しはこれから順次ジャンボリーのウェブサイトなどでご案内していきます。どうぞお楽しみに。

2022年、日本連盟創立100周年の夏を、全国のスカウトがそれぞれの場所で存分に楽しむ。そんな大会作りに皆さんのお力をお貸しくださいますよう、お願いいたします！

18NSJ実行委員会

開催の趣旨

全国のスカウトと指導者が、班制教育と各種の進歩制度と野外活動など、スカウト教育の基本を重視した質の高いスカウト活動をとおり、「ちかい」と「おきて」の実践を促進させる機会として、また、ジャンボリーならではのプログラムに参加することにより、新たな発見や感動を体感するとともに、スカウト同士の友情の絆を結び、青少年の自己成長を促すために我が国スカウト運動最大の教育イベントとして4年を周期に日本ジャンボリーを開催してきました。

同時に、日本連盟としては、大会全体を通しスカウト運動が取り組むべき課題や将来への展望を検証する機会として捉え、青少年の現在と将来に係わりの深い課題を取り入れたプログラムを地域社会や関係組織・

諸団体と一体となって展開し、本運動の果たす役割や具体的な活動内容を社会に広くアピールし、スカウト運動の一層の躍進を図る契機とも捉えています。

第18回日本スカウトジャンボリーの目的

第18回日本スカウトジャンボリーは、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念大会として開催し、本大会に参加する青少年たちが、平素培ったスカウト訓練を基盤に、より多くのスカウト仲間との相互交流を通じて、日本連盟創立100周年を目指した長中期計画にある、冒険的で楽しい野外活動を行いながら奉仕活動に励む「活動的で自立したスカウトを育てる」ことを目指す大会とします。

新たな様式での大会開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当初計画していた日本全国から一堂に集まるキャンプ大会では、スカウトの安全を確保することは難しいことから、感染症拡大の対策を講じて思う存分スカウトキャンプを行うなど、コロナ禍で停滞している全国の活動が活発になる機会となるよう、次の新たな様式にて開催します。

1. 一極集中を避けて分散して開催します

2022年8月7日～8日の2日間をコア期間として、首都圏の中央会場と全国各地にサテライト会場を設置して分散開催します。

2. 東京ジャンボリー大集会

2022年8月7日(日)に全国からの代表スカウ

トが集まり、サテライト会場や全国各地とオンラインでつないだスカウトプログラムを実施します。

3. ジャンボリーサマー 2022

2022年の夏休み期間を「ジャンボリーサマー 2022」と位置づけ、県連盟、地区、団、隊などで行うさまざまなキャンププログラムを18NSJとして認めます。

4. 代表スカウトキャンプ(仮称)

全国47都道府県より代表スカウトが中央会場に集まり、スカウトキャンプを通じ相互理解をはかり、全国への発信を行います。



開催概要

名 称 第18回日本スカウトジャンボリー
(略称: 18NSJ)

テーマ 「100⁺f ~自分のfを探せ~」
(ひゃくプラスエフ じぶんのエフをさがせ)

日本連盟創立100周年記念大会として、大会に参加したスカウトたちによりこれまでの100年間の歴史を振り返り、これからの100年を築き上げる契機となるよう、自ら考えるf (future, friend, family, faith, fun, face, fuji など) を探して未来に向かっていく、スカウトの自主性と発信していく姿を表すテーマとしました。

また、サテライト会場等で独自のテーマを追加的に設定することを歓迎します。

大会ロゴマーク

100周年記念となる特別な大会として日本中で開催されるよう、日本で古来より祝いごとに使われる赤・白・金の3色で表現し、その中に「第18回」と「100周年」を表す数字と、テーマである「F」を組み込んでいます。

次の100周年に、無限の可能性を見据えた「無限大(インフィニティ)」をデザインに入れ、さまざまなモノへの繋がり表す六角形としました。

また、文字内の「ALL OVER JAPAN」の「O」は日本中との「コネクト」を表現しています。



日 程

次ページ以降を参照してください。長期キャンプの実施という観点から5泊6日間以上のスカウトキャンプを標準とし、各会場に応じて日程を検討します。

参加者

加盟員のボーイスカウトおよびベンチャースカウト

を参加の主体とし、活動を支援する成人指導者とともに参加します。スカウトおよび未成年の指導者の参加にあたっては、保護者の同意が必要です。

ガールスカウトおよび外国連盟からの参加者については、各会場の実情に応じて検討していきます。

参加にあたっては次の要件を基準とします。

- 大会が指定する共通プログラムに参加すること
- 県連盟が定めるキャンプ生活を送ること
- ボーイスカウトの班を編成すること
- ベンチャースカウトは日本連盟が別途定めるプログラムに参加すること

外国参加者の受け入れ

今回の大会は分散開催となるため、日本連盟としての外国連盟へ公募型の案内は行いません。

ただし、県連盟・地区・団等で友好関係がある外国隊を招待する場合は、事業実施6か月前までに「外国スカウト受入計画」の申請に基づき、申請があった分散開催地で受け入れます。その場合は入国から帰国までを申請者が対応します。

プログラム

全国共通のプログラムと各会場の特色を活かしたプログラムにより構成していきます。

18NSJでは「スカウトの進歩」「パトローリング」「ちかいとおきて」をプログラムの柱として企画し、新時代のスカウト活動の活性化を推進することを意図しています。

プログラムは、野営生活、信仰、奉仕・貢献活動、交流、ジャンボリー日本一プログラム、サテライトプログラム等で構成され、日々のスカウト活動の中で取り組めるような課題を設定します。

「Do my best ~ひとりはみんなのために、みんなはひとりのために、最善をつくす。」をモットーにジャンボリーの生活、ジャンボリー日本一プログラムの企画を進めています。

18NSJに参加することで班活動の楽しさ、野外活動の魅力を伝えられるようにしたいと考えています。

また、参加したスカウトがこれまでのジャンボリーと同じように、我が国日本を感じ、その日本で活動するスカウト仲間のつながりを実感できるように、ICT技術を活用した活動の記録や発信をできるようにします。

サテライト会場の実施概要

2022年8月7日～8日の2日間をコア期間として、首都圏の中央会場と全国のサテライト会場、ならびに希望する県連盟が設置する会場を含め、分散開催します。

期 間

2022年8月7日～8日の2日間を含む、5泊6日間以上のスカウトキャンプを標準として、会場を開設する各ブロック・県連盟で検討します。

プログラム活動を十分に提供するとともに、自発活動に基づくゆとりのあるキャンプ生活を実践するため、また、日本連盟で提唱するスカウト教育を十分に発揮するための長期キャンプの実施という観点から大会期間（入場から退場まで）は5泊6日間を標準とします。

会 場

首都圏の中央会場と全国各地のサテライト会場で分散して開催します。施設の収容能力を遵守し十分な感染対策を講じるため、参加者の健康管理が可能な規模を各会場で設定します。

各会場には、他の県連盟やブロックからの参加者受入も計画します。

サテライト会場に加えて、ブロック内の各県連盟や、

地区や団が独自に会場を設定できる場合には、「ジャンボリーサマー 2022」として18NSJの一部として認めます。

サテライト会場の設置場所等については、次号でお知らせします。

プログラム

各会場のプログラムは次に示す全国共通のプログラムと、各会場では開催地域の特色を活かしたサテライトプログラムにより構成します。

■ 全国共通プログラム

- ジャンボリー日本一プログラム／班対抗によるスカウト技能を競う日本一プログラムを設定する（班旗立て、火起こし、手旗）
- 信仰奨励（班や隊でのスカウトOWN・サービスなど）
- SDGs プログラム（班で決めたSDGsプログラムに取り組む）

■ サテライトプログラム

- 野営生活
- 交流プログラム
- 奉仕、地域貢献等 各地域のプログラム



東京ジャンボリー大集会

2022年8月7日(日)に全国からの代表スカウトが集まり、全国とオンラインでつないだ一日型のスカウトプログラムを生配信し、18NSJ参加者全体での一体感を醸成します。

目 的

全国から集まる代表スカウトと、中央会場・サテライト会場の参加者をオンラインでつなぐことで、参加者等による出し物や各地の活動状況を共有し、第18回日本スカウトジャンボリーの一体感を醸成します。

また、全国のスカウトともオンラインでつなぎ、日本連盟創立100周年を祝います。

日 程：2022年8月7日(日) ※予定

場 所：東京および近郊の数千人規模が収容できる施設を検討中です。可能な限りサテライト会場とオンラインでつなぎ、中継等を行う予定です。

大集会会場への申し込み手続き

プログラム内容と施設の収容人数を勘案して、都道

府県連盟にスカウトと指導者の参加人数を割り当てます。また、会場周辺の希望するスカウト関係者を、事前申し込みにより受け入れます。

来場したスカウト以外も出演できるよう各地で実施しているものを中継したり、事前に撮影した映像の投稿を受け付けるなどして、さまざまな参加の機会を検討します。



ジャンボリーサマー 2022

2022年の夏休み期間を「ジャンボリーサマー2022」と位置づけ、次の概要に基づく、県連盟、地区、団、隊などで行うさまざまなキャンププログラムを18NSJとして認めます。手続き等の詳細については、今後の情報を参照してください。

期 間

2022年の夏休み期間に、5泊6日間以上のスカウトキャンプを標準として、実施する隊・団等で検討します。

プログラム活動を十分に提供するとともに、自発活動に基づくゆとりのあるキャンプ生活を実践するため、また、日本連盟で提唱するスカウト教育を十分に発揮するための長期キャンプの実施という観点からを5泊6日間のスカウトキャンプを標準としていますが、各隊・団の実情に沿って検討してください。

プログラム

各会場では県連盟が示すキャンプ生活を送り、4

ページと7ページに示す全国共通プログラムを取り入れながら、開催地域の特色を活かしたプログラムを企画・立案します。



代表スカウトキャンプ

100周年を記念する第18回日本スカウトジャンボリーの県連盟代表として、中央会場でのキャンプ生活と東京ジャンボリー大集会への参加を通じた日本スカウトジャンボリーの経験を各地に持ち帰り、全国大会の意義を共有します。

目的

ボーイスカウト活動の基本である野外活動（野営）を通じて、その重要性を再認識するとともに野外活動に必要なウッドクラフト（森林生活術）を体得し、そのウッドクラフトを通じて自隊の班、隊の仲間への指導的役割を果たせるように実践することを目的とします。

ねらい

- ①1級スカウトに必要な、スカウト技能、知識を再確認するとともに、リーダーシップを発揮し、自隊の後輩スカウトおよび仲間へ学んだことを指導ができるようにします。
- ②本格的なスカウトキャンプを実施することにより、さまざまなウッドクラフト（森林生活術）の技能を学び実践できるようにします。
- ③チームワーク、スカウト技能・知識、体力で乗り越えていくもので、躍動的で系統的な活動プログラムを設定します。

- ④進級・履修細目の認定は、所属隊長の専任事項であるとの見地から、スカウト進級細目の履修は主体としません。

期 間

2022(令和4)年

8月5日(金)～10日(水) 5泊6日間

会 場

- ①東京連盟日向野営場 千葉県山武市
- ②大田区立平和島公園キャンプ場 東京都大田区
- ③大田区立総合体育館(東京ジャンボリー大集会会場)

参加者

参加するスカウトおよび指導者は、令和4年度の加盟登録を有し、日程表に示す8月5日から8月10日までの5泊6日間のキャンプ生活に十分に耐えうる健康とキャンプ技能を有するよう各県連盟が責任を持って訓練して参加します。また、スカウトおよび未成年の指導者の参加にあたっては、保護者の同意が必要です。

スカウトはボーイスカウトでキャンプ参加時までに1級スカウト章以上を有する者で、各県連盟から2人、計94人を3つの隊で運営します。



プログラムの概要

今大会のプログラムは、「スカウトの進歩」「パトローリング」「ちかいとおきて」をプログラムの柱として企画し、野営生活、信仰、奉仕・貢献活動、交流、ジャンボリー日本一プログラム、サテライトプログラムで構成され、日々のスカウト活動の中で取り組めるような課題を設定します。

共通プログラム

■ ジャンボリー日本一プログラム

オンライン上で入力された各地の班の成績を大会本部で集計して、全国での順位を発表します。記録は日々更新され、ネット等を通じて随時記録を見ることができるようになります。3つすべてのプログラムにエントリー可能で、班の希望により1つでもエントリーできます。

報告のあった記録から各プログラムの「ジャンボリー日本一」を認定し、認定された班を表彰します。プログラムは、「班旗立て」「火起こし」「手旗信号リレー」の3つを予定しています。

■ 信仰奨励

サテライト会場内で教宗派による宗教儀礼もしくは班や隊でスカウトツォウン・サービスを企画、実施します。実施する日は各サテライト会場もしくは班や隊で定めます。

■ SDGsプログラム

ジャンボリーの生活の中でSDGsの17の目標について、個人や班で具体的な取り組みを考え実行します。
(例) 食材を無駄なく調理する方法を考える。

ゴミを最小限にするためにできることを考え実践する。

班会議でSDGsの取り組みについて振り返り、翌日の目標について確認します。

サテライトプログラム

各サテライト会場で地域の資源を活用したプログラムを設定します。ハイキング、見学、体験、ゲーム、交流などサテライト会場独自のプログラムを企画します。

■ 野営生活

リーダーシップ、チームワークを発揮して、サイトの設営、野営工作物の製作、環境整備、安全で快適な野営生活を実践します。

■ 交流プログラム

班と班、隊と隊の交流プログラムを実施することを奨励します。

■ 奉仕・貢献活動

班や隊、他の参加スカウトのためになる奉仕活動を実施します。サテライト会場のある地域への貢献活動の企画と実施します。

■ 開会式、閉会式

各サテライト会場で開会式、閉会式を設定します。企画、運営はサテライト会場が行います。

「パイオニア賞」の認定

共通プログラムなどの各種プログラムに参加し、パイオニア賞の課題の達成を隊長が認定すると「パイオニア賞」が授与されます。ジャンボリー期間中にパイオニア賞を取得できるよう、ジャンボリー前の準備訓練でスカウト技能の習熟を目指します。パイオニア賞の課題は検討中で、今後の情報を参照してください。



今後の情報

大会情報ページ

18NSJ特設サイトの制作を進めています。ウェブサイトを通じてさまざまな情報にアクセスできるよう整えています。今秋、公開予定です。また、大会公式スマートフォン用アプリの開発も進めています。



インフォメーション第2号

インフォメーションは、2か月に一度のペースで第2号は12月に発行する予定です。

第2号予定記事：サテライト会場一覧、参加希望調査、プログラム最新情報、大会ソング、大会記念品



・発行



公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 TEL 03-6913-6262 FAX 03-6913-6263
E-mail 18nsj@scout.or.jp ホームページ <https://www.scout.or.jp/>